

平成30年度生物多様性保全推進交付金(エコツーリズム地域活性化支援事業)の採択団体一覧

No	協議会名称	事業の概要
1	てしかがえこまち推進協議会 (北海道)	阿寒摩周国立公園を中心に、平成28年度に認定されたエコツーリズム推進全体構想について、ルールの浸透、モニタリングの実施、課題整理、内容の見直し検討などを行う。
2	東松島市エコツーリズム推進協議会 (宮城県)	東松島市で遅れている観光復興を目指し、エコツーリズムの仕組みづくり、体制づくりの第1歩として、地域資源調査、プログラム素案作り、人材育成手法の検討を行う。平成32年度中のエコツーリズム推進全体構想の策定を目指す。
3	檜原村エコツーリズム推進協議会 (東京都)	秩父多摩国立公園を中心に、平成29年度に認定申請したエコツーリズム推進全体構想に基づき、ガイド養成、ツアープログラムの企画立案、ツアープログラムの実施、モニタリング調査の対象と手法の検討などを行う。
4	伊豆半島ジオパーク推進協議会 (静岡県)	貴重な地質遺産等を有する伊豆半島ジオパークにおいて、エコツーリズム推進全体構想案のブラッシュアップ、人材育成、先進地視察等を実施する。エコツーリズム推進全体構想は平成31年度中の申請を目指す。
5	軽井沢町エコツーリズム推進協議会 (長野県)	信濃路自然歩道と中山道を使ったエコツアーを含めた地域づくりを検討。先進地視察研修を行い、自然保護とツアーによる利用のバランスを検討する。エコツーリズム推進全体構想は平成32年度中の認定を目指す。
6	下呂市エコツーリズム推進協議会 (岐阜県)	飛騨木曽川国立公園や岐阜県立国立公園を有する下呂市では、平成29年度エコツーリズム推進全体構想の認定申請を行った。平成30年度は、ガイド人材の育成、市民を巻き込んだ資源探し(宝探し)、モニターツアー、保全にかかるモニタリング調査をおこない、自立した経営を目指す。
7	篠山市エコツーリズム推進協議会 (兵庫県)	平成30年度は計画最終年であり、兵庫県立自然公園を中心にエコツーリズム推進全体構想の策定、推進マニュアルの作成、持続可能なエコツーリズム推進体制の整備・強化に努める。エコツーリズム推進全体構想は平成30年度中の認定を目指す。
8	吉野川紀の川源流ツーリズム推進協議会 (奈良県)	吉野熊野国立公園に隣接する地域で、エコツーリズムを推進していく母体となる新組織について検討を行い、エコツーリズムを推進するためのツールの制作や広報活動等を実施する。エコツーリズム推進全体構想は平成30年度中の認定申請を目指す。
9	瀬戸内ツーリズム推進協議会 (広島県)	瀬戸内海国立公園において、着地型観光ツアーの企画・実施、人材育成のための「エコ熟」の実施、長期滞在インフラ整備の検討などを行う。エコツーリズム推進全体構想は大崎上島町を中心として平成32年度中の認定を目指す。
10	阿蘇ジオパーク推進協議会 (熊本県)	阿蘇ユネスコ世界ジオパーク地域において、エコツーリズム推進全体構想を踏まえ、モニタリング調査の試行実施により、地域資源の保全と活用を図る。また、阿蘇の草原文化を解説するパンフレット等を作成する。全体構想は平成30年度中の認定を目指す。
11	甕島ツーリズム推進協議会 (鹿児島県)	甕島国立公園において、の認定に向けた調査、活動、甕島の認知度向上のためのPR活動、持続的な活動を実現するための地域住民への情報収集と先進地視察などにより、平成30年度中の甕島ツーリズム推進全体構想認定を目指す
12	大宜味村生物多様性センター運営協議会 (沖縄県)	沖縄県北部やんばる地域において、平成30年度に大宜味村エコツーリズム全体構想の認定申請を行うことを目指すとともに、ガイド養成、環境モニタリングの試行などを行う。